



藤原 伸 議員
(明和会)

中央図書館の整備計画は 生涯学園都市会館周辺で検討

【Q】「まちづくりと施設整備の方向(案)」の中の都市機能増進を図る施設整備計画において、複合化するとしていた施設の今後の方向性が示されたが、中央図書館整備計画と設置場所の選定基準について伺う。

【A】【市長】 図書館整備の方向性については、「まちづくりと施設整備の方向(案)」で示したとおり、まちづくりの核となる施設の一つと考えており、蔵書数を30万冊程度とするほか、市街地の振興に資する機能を付加した複合施設として検討している。中心市街地への人の流れを誘導する施設として立地場所を考える必要があり、花巻地区の中心市街地に隣接した、生涯学園都市会館周辺への移転を候補に検討していく。



現在の蔵書数はおよそ18万冊(花巻図書館)

国保の将来見通しは

【Q】国民健康保険において、他市と比較して高齢化率の高い本市の将来の収支見通しについて伺う。

【A】【市長】 本市の被保険者に占める65歳以上の高齢者の割合は平成25年度で40%を超え、県内市町村で3番目に高い状況。このような中で

医療費については、被保険者数は減少傾向にあるものの、高齢化による医療の受診機会の増加や医療の高度化などにより少しずつであるが増えている状況である。平成30年度から、都道府県が国保の財政運営の責任主体となることがすでに決まっている。今後の本市の国保財政運営を見通すと、都道府県化前の平成29年度までは収支が保てる見込みであることから、引き続き適切な財政運営に努めていく。

【そのほかの質問】 学校でのいじめ問題について



近村 晴男 議員
(花巻クラブ)

企業誘致の成果と新工業団地は 財政負担を伴うため慎重に検討

【Q】人口減少対策の観点から雇用の場の確保が重要であるとして、トップセールスも含めて企業誘致活動を展開しているが、成果と課題、今後の展望を伺うとともに、新たな工業団地の整備に向けた取り組み状況を伺う。

【A】【市長】 合併後の新規立地企業数は23社であり、新たに雇用された従業者数は1064人となっている。課題は、誘致の中心であった製造業の動きが弱まったため、新たな視点での掘り起こしや折衝手法の検討が必要であること。今後は、本市に立地することの具体的なメリットを個々の企業に提案し、他地域との差別化を図りたい。新たな団地整備の取り組みは、投資額の抑制や事業の確実性、リスクの低減など検討が必要のため、民間資金の活用を含め、最適な事業手法の検討を慎重に進めている。

「まん福」の活用策は

【Q】市は目的を持って「まん福」の建物の寄附を受けているが、今後の利活用策について伺う。併せて中心市街地の活性化と結び付けた活用策を地域と話し合う考えはないか伺う。



新たな工業団地整備が必要

【A】【市長】 現段階において、これからの土地取得費や建物改装費、今後の改修費用に見合う具体的な活用策は見いだせず、中心市街地活性化への活用策を示すことや、地域との話し合いを持つことができる段階には至っていない。リノベーションの手法で利用することが可能かどうかについて専門家に検討いただいている。また、現実に可能な利用方法が見つかった場合には、広く市民にご意見を伺った上で活用することを検討していきたいと考えている。

【そのほかの質問】 「ふるさと納税」の取り組みについて、土砂災害危険地域における擁壁の整備について



瀬川 義光 議員
(市民クラブ)

暴力団排除条例の制定は 年度内の条例制定を目指す

【Q】県内で暴力団排除条例が未制定なのは、本市を含め3自治体だけとなる見込みである。観光立市を掲げている本市は国体も控えており、クリンなイメージが重要であるが、同条例の制定に向けた検討状況について伺う。

【A】【市長】 本年5月末に岩手県警察本部組織犯罪対策課より暴力団排除条例制定の要請があり、本市としても、条例の必要性およびその内容について検討を進めているところである。暴力団排除に取り組み点においては、県条例と理念は同じであり、県条例で対応できない市の事務における暴力団排除について、市条例により規定することとなる。本市が取り組むべき事務について現在精査を行っており、庁内で調整を図りながら本年12月定例会に提案したいと考えている。

ブランド米の産地確立は

【Q】県が県産米のブランド化を目指して開発を進めている、オリジナル新品種を見据えた、当市としての戦略について伺う。



新たなブランド米の産地確立が期待される

【A】【市長】 本市が新たなブランド米の産地として地位を確立することは、農業所得の向上や農業経営の安定化につながると考えている。新品種の「岩手107号」「岩手118号」に関する今後の取り組み動向を十分に注視し、産地振興方針や品種の配置などについて、岩手県や花巻農業協同組合など、関係機関との連携を図りながら協議し、花巻市内の作付推進に努めていきたいと考えている。

【そのほかの質問】 災害対策について、空き家対策について



若柳 良明 議員
(平和環境市民クラブ)

市職員のメンタルヘルス対策は ストレスチェックなど実施

【Q】県内他市と比較して、多いか少ないか伺う。また、メンタルヘルス対策はどのように実施しているか伺う。

【A】【市長】 人口規模が近い内陸他市と比較すると本市の職員が多い。対策として、平成22年度からアンケート形式のストレスチェックにより自身のメンタル状況を把握している。昨年度からは診断結果を所属長に知らせ、職場内でケアしている。また、産業界を委嘱して定期健診などの事後指導や過重労働者の面接、さらに本庁に保健師を配置して、健康相談や指導などの対応をしている。ほかに、職場復帰ができるよう訓練実施にかかる規定を定め、日誌や報告書を交わしながら経過を見守り復帰支援を展開している。

市職員の給与改善

【Q】市職員の給与が低いのはどのよう原因によるものか伺う。また、平成26年3月以降の調査結果及びその後の改善策について伺う。

【A】【市長】 原因は、合併前の1市3町でおおむね国の給与制度に準拠しながらも、初任給や昇給運用、行



全国労働衛生週間に合わせて行われた職場巡視(市役所)

【そのほかの質問】 定員管理及び行政組織について、権限委譲について